



2016年5月12日

日産自動車、2015年度通期決算を発表
当期純利益は5,238億円を計上-

2015年度連結決算 (東京証券取引所届出 中国合弁会社に持分法を適用) ^{注1}	2015年度通期 (2015年4月~2016年3月)	前年比
売上高	12兆1,895億円 (1,014億USドル、919億ユーロ)	+7.2%
営業利益	7,933億円 (66億USドル、60億ユーロ)	+34.6%
当期純利益 ^{注2}	5,238億円 (44億USドル、40億ユーロ)	+14.5%

2015年度通年の平均レートである1USドル120.2円、及び1ユーロ132.6円を使用しています。

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:カルロス ゴーン)は12日、2015年度通期の決算を発表しました。

2015年度通期は増収増益となりました。北米、西ヨーロッパ、および中国で発売した新型車の好調な販売が、為替変動によるマイナスと、減速する新興市場の影響を打ち消しました。

連結営業利益は前年度から34%以上上回る、7,933億円に達し、売上高営業利益率は6.5%となりました。連結売上高は12兆1,895億円です。

中国合弁会社の業績を比例連結したベースでは、2015年度通期の売上高は前年同期から7.7%増の13兆3,656億円となりました。営業利益は前年同期から30.2%増の9,355億円に達し、売上高営業利益率は7.0%となりました。なお、2015年度の日産のグローバル販売台数は、前年比2.0%増の542万台でした。

日産の社長兼CEOのカルロス ゴーンは、「この好業績は、特に北米における継続的な新車攻勢が功を奏しています。新型車の力強い販売と継続的なコスト低減の取り組みにより、複数の新興国市場における為替動向の逆風と不安定な市場環境の中でも持ちこたえています」と述べました。

さらに、「今年度は、特に自動運転技術の採用などの継続的な商品改良やルノー・日産アライアンスによるシナジー効果の増大がこれからの発展を牽引することになります。当社は将来を見据え、中期経営計画『日産パワー88』の高い目標に向け、まい進していきます。しかしながら、不安定な市場環境と為替動向を踏まえ、今年度は慎重な業績見通しとしました」と語りました。



2016 年度の見通し

2016 年度のグローバル販売台数は 3.3%増の 560 万台を見込んでいます。これはグローバル市場シェア 6.3%に相当します。

「マキシマ」、「アルティマ」、「タイタン」、そしてインフィニティ「Q30」を含む新型車が拡販に寄与すると見込んでいます。

堅実な販売見通しおよび慎重な為替予想に基づき、日産は 2016 年度（2017 年 3 月期）の業績予想を次の通り東京証券取引所に届け出ました。

2016 年度連結決算予想 (東京証券取引所届出 中国合弁会社に持分法を適用) 注1	
売上高	11.8 兆円 (1,124 億 US ドル、983 億ユーロ)
営業利益	7,100 億円 (68 億 US ドル、59 億ユーロ)
経常利益	8,000 億円 (76 億 US ドル、67 億ユーロ)
当期純利益 注2	5,250 億円 (50 億 US ドル、44 億ユーロ)

1US ドル 105 円および 1 ユーロ 120 円で算出

注1) 2013 年度から中国の合弁会社 東風汽車有限公司の連結方法が変わり、持分法が適用されています。本会計基準では、連結当期純利益に変化はないものの、連結売上高と連結営業利益には東風汽車の数値は含まれなくなります。

注2) 親会社株主に帰属する当期純利益

当社決算の詳細については、以下より資料をダウンロードいただけます。

<http://www.nissan-global.com/JP/IR/FINANCIAL/>

以 上

お問い合わせ先:
 日産自動車株式会社 グローバルコミュニケーション本部
 Tel:045-523-5521(企業)/5553(商品)/5520(IR)
<https://newsroom.nissan-global.com> (プレス情報)
www.nissan-global.com/JP/IR/ (IR情報)

読者からのお問い合わせ・ご相談は「お客さま相談室」
 0120-315-232 (携帯・PHS対応)
 9:00-17:00(年末年始を除く)
 お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま
 対応や品質向上のために記録し活用させていただきます。

	12ヶ月累計				第4四半期		来期予想 17年3月期
	当通期実績 16年3月期	前通期実績 15年3月期	当第4四半期実績 16年3月期	前第4四半期実績 15年3月期			
売上高 (注1)	121,895億円 (7.2%)	113,752億円 (8.5%)	32,465億円 (1.2%)	32,867億円 (2.6%)			118,000億円
日本	45,043億円 (0.3%)	45,160億円 (6.4%)	11,626億円 (7.1%)	12,521億円 (2.4%)			
北米	65,004億円 (15.8%)	56,153億円 (16.3%)	16,663億円 (1.0%)	16,494億円 (19.9%)			
欧州	19,154億円 (0.6%)	19,266億円 (2.4%)	5,268億円 (5.4%)	4,997億円 (18.2%)			
アジア	17,875億円 (3.0%)	17,354億円 (8.9%)	4,641億円 (6.9%)	4,985億円 (2.9%)			
その他地域	11,688億円 (0.9%)	11,581億円 (15.9%)	2,776億円 (15.7%)	3,292億円 (11.4%)			
小計	158,764億円 (6.2%)	149,514億円 (5.8%)	40,974億円 (3.1%)	42,289億円 (4.4%)			
消去	36,869億円 -	35,762億円 -	8,509億円 -	9,422億円 -			
営業利益 (注1)	7,933億円 (34.6%)	5,896億円 (18.3%)	2,057億円 (19.9%)	1,716億円 (13.2%)			7,100億円
日本	3,036億円 (24.4%)	2,441億円 (24.4%)	599億円 (4.8%)	629億円 (2.3%)			
北米	3,991億円 (34.9%)	2,957億円 (54.1%)	1,066億円 (33.5%)	799億円 (23.2%)			
欧州	142億円 (-)	258億円 (-)	114億円 (-)	106億円 (-)			
アジア	875億円 (57.1%)	557億円 (4.5%)	288億円 (33.2%)	215億円 (23.3%)			
その他地域	60億円 (-)	189億円 (-)	27億円 (-)	3億円 (-)			
小計	7,820億円 (42.0%)	5,508億円 (7.1%)	1,812億円 (18.1%)	1,534億円 (14.9%)			
消去	113億円 -	388億円 -	245億円 -	182億円 -			
経常利益	8,623億円 (24.2%)	6,942億円 (31.7%)	2,312億円 (16.9%)	1,979億円 (1.3%)			8,000億円
親会社株主に帰属する当期純利益	5,238億円 (14.5%)	4,576億円 (17.6%)	710億円 (40.2%)	1,188億円 (3.3%)			5,250億円
1株当たり当期(四半期)純利益	125.00円	109.15円	16.96円	28.32円			
潜在株式調整後1株当たり当期(四半期)純利益	124.99円	109.14円	16.96円	28.32円			
為替レート	120.2円 / US\$ 132.6円 / EUR	109.8円 / US\$ 138.7円 / EUR	115.4円 / US\$ 127.2円 / EUR	119.2円 / US\$ 134.0円 / EUR			105.0円 / US\$ 120.0円 / EUR
設備投資 (注2)	4,790億円	4,631億円	1,974億円	1,810億円			5,400億円
減価償却費 (注2)	4,019億円	3,733億円	1,033億円	966億円			4,000億円
研究開発費	5,319億円	5,061億円	1,436億円	1,238億円			5,600億円
総資産	173,736億円	170,457億円	-	-			
純資産	51,407億円	52,473億円	-	-			
自己資本比率	27.2%	28.4%	-	-			
業績評価	増収増益	増収増益	減収減益(当期純利益) (但し、営業利益・経常利益は増益)	増収増益(当期純利益) (但し、営業利益・経常利益は減益)			

* 中国合併会社持分法ベース

* ()内は対前年同期増減率

(注1) 本邦以外の地域に属する主な国又は地域は以下の通りである。

- (1) 北米...米国、カナダ、メキシコ
- (2) 欧州...フランス、イギリス、スペイン、ロシア、その他欧州諸国
- (3) アジア...中国、タイ、インド、その他アジア諸国
- (4) その他地域...大洋州、中近東、メキシコを除く中南米、南アフリカ

(注2) 設備投資と減価償却費は、ファイナンスリース関連の金額を含む。

	12ヶ月累計		第4四半期		来期予想 17年3月期
	当通期実績 16年3月期	前通期実績 15年3月期	当第4四半期実績 16年3月期	前第4四半期実績 15年3月期	
グローバル販売台数(小売)					
日本 (軽を含む)	573千台 (8.1%)	623千台 (13.3%)	190千台 (8.0%)	206千台 (18.5%)	580千台
北米	2,011千台 (9.9%)	1,829千台 (11.0%)	521千台 (9.5%)	476千台 (7.3%)	2,070千台
(内 米国)	1,517千台 (8.4%)	1,400千台 (8.9%)	400千台 (8.9%)	368千台 (3.6%)	1,570千台
欧州	754千台 (0.2%)	755千台 (11.7%)	214千台 (3.4%)	221千台 (8.0%)	770千台
アジア	1,607千台 (1.4%)	1,585千台 (2.7%)	486千台 (10.6%)	439千台 (6.9%)	2,180千台
(内 中国)	(注1)1,250千台 (注2) 6.3%	(注3)1,222千台 (注4) 0.5% (注5)	(注1)391千台 (注2) 17.6%	(注3)342千台 (注4) 10.0%	(内中国 1,300 千台)
その他	478千台 (8.8%)	526千台 (1.9%)	121千台 (12.9%)	141千台 (0.9%)	
計	5,423千台 (2.0%)	5,318千台 (2.5%)	1,532千台 (3.4%)	1,483千台 (2.1%)	5,600千台
グローバル生産台数					
日本	849千台 (2.4%)	871千台 (13.0%)	222千台 (9.5%)	246千台 (4.0%)	1,030千台
北米 (注6)	1,825千台 (4.6%)	1,744千台 (11.9%)	482千台 (9.0%)	442千台 (2.1%)	1,840千台
欧州 (注7)	661千台 (8.2%)	720千台 (0.6%)	169千台 (8.0%)	184千台 (13.0%)	676千台
アジア (注8)	1,775千台 (8.8%)	1,631千台 (5.3%)	549千台 (22.1%)	450千台 (10.9%)	1,954千台
その他 (注9)	93千台 (3.6%)	95千台 (11.2%)	20千台 (18.3%)	23千台 (9.6%)	(内中国 1,255 千台)
計	5,203千台 (2.8%)	5,061千台 (0.4%)	1,442千台 (7.2%)	1,345千台 (6.9%)	5,500千台

* ()内は対前年同期増減率

* グローバル販売台数及びグローバル生産台数の中国・台湾については、1 - 12月ベースの数字

(注1)2015年1月より小売ベース(小型商用車を除く)

(注2) 前年比は、小売ベースでの比較(小型商用車を除く)

(注3)2014年12月までは卸売ベース

(注4) 前年比は、卸売ベースでの比較

(注5) 重・中型商用車事業売却後調整値

(注6) 米国、メキシコの生産台数

(注7) スペイン、英国、ロシアの生産台数

(注8) 台湾、タイ、フィリピン、インドネシア、中国、インドの生産台数

(注9) 南アフリカ、ブラジル、エジプトの生産台数

	12ヶ月累計		第4四半期	
	当通期実績 16年3月期	前通期実績 15年3月期	当第4四半期実績 16年3月期	前第4四半期実績 15年3月期
連結売上台数				
日本	553千台 (6.4%)	590千台 (15.3%)	176千台 (9.2%)	194千台 (17.8%)
海外	3,616千台 (2.7%)	3,523千台 (4.8%)	982千台 (2.2%)	961千台 (3.2%)
計	4,169千台 (1.4%)	4,113千台 (1.3%)	1,158千台 (0.3%)	1,155千台 (6.0%)
連結生産台数				
日本	849千台 (2.4%)	871千台 (13.0%)	222千台 (9.5%)	246千台 (4.0%)
在外連結子会社	2,929千台 (3.1%)	2,839千台 (2.9%)	777千台 (7.7%)	721千台 (7.4%)
計	3,778千台 (1.8%)	3,710千台 (1.3%)	999千台 (3.3%)	967千台 (6.6%)

* 連結売上台数、連結生産台数は連結財務諸表のベースとなるものである。